

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p><b>1 介護負担を軽減する技術「ユマニチュード」について（20分）</b></p> <p>「ユマニチュード」はフランスの体育学の専門家イヴ・ジネストさんとロゼット・マレスコッティさんが開発したケアの技法です。「ユマニチュード」とは「人間らしさを取り戻す」という意味を持つフランス語の造語で、あなたを大切に思っていることを相手にわかるように伝える技術です。</p> <p>認知機能が低下し、身体的にも脆弱な高齢者の方々に対してケアを行うとき、ある時は穏やかにケアを受け入れてもらえるのに、別の時は激しく拒絶されることがあります。その原因が「見る方法」「話す方法」「触れる方法」に違いがあることを発見し、さらに人は「立つ」ことによって、生理学的な効果のみならず、その人らしさ、つまりその尊厳が保たれることから、この4つの要素「見る」「話す」「触れる」「立つ」をケアの4つの柱と名付けました。相手をどんなに大切に思っている、また優しくしたいと思っても、その気持ちは相手が理解できるように表現しなければ、相手には届きません。ユマニチュードはケアを受けている人に対して、「あなたは私にとって大切な存在です」と伝えるための技術です。</p> <p>このユマニチュードは介護技術のみならず、教育現場でも生かされています。相手を大切に思う気持ちを友達にどう伝えるかを学ぶことができ、いじめの一つの解決策として取り入れている自治体があります。</p> <p>前回の一般質問でも取り上げましたが、2040年に高齢者の7人に1人が認知症になるとの推計結果が公表されています。認知症になった場合、家族が介護をするケースが多いのが現状です。介護の負担を少しでも軽くする技術があるならば、市としても取り入れる工夫をすべきではないでしょうか。見解をお伺いします。</p> <p>(1) 介護者に対する技術的な指導は。  (2) 介護者からの悩みを聞く体制は。  (3) ユマニチュードに対する市の見解は。  (4) ユマニチュードを周知することについての見解は。  (5) 教育現場にユマニチュードを取り入れることについての見解は。</p>	<p>市長 教育委員会教育長</p>

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p><b>2 認知症行方不明者を地域で支える体制を（15分）</b></p> <p>警察庁は、認知症やその疑いがあり、2023年に全国の警察に届け出があった行方不明者が1万9,039人に上ったと発表しました。前年から330人増え、12年の統計開始以来、11年連続で最多を更新しました。認知症の人が行方不明になれば、目的地を把握しにくいいため、時間の経過とともに発見が難しくなります。</p> <p>早期の保護に向けて家族だけでなく、地域の関係者が連携しより多くの目で搜索する体制が必要です。地域で支える連携体制を構築するために市の見解をお伺いします。</p> <p>(1) 市内の認知症行方不明者数は。</p> <p>(2) 行方不明者が発生した場合の市の搜索方法は。</p> <p>(3) 見守りネットワークとの連携は。</p> <p>(4) 行方不明者を出さないための取組は。</p> <p>(5) 一人暮らしで行方不明になった場合の対応は。</p>	市長
<p><b>3 高齢者や聴覚障害者へのスマートフォン購入費の助成を（10分）</b></p> <p>現在、スマートフォンは若者のみならず、幅広い世代で欠かせないものになっています。高齢者の方々にとってはスマートフォンを利用することで生活や健康管理に役立つだけでなく、デジタル社会への参加や孤立感の軽減にもつながります。しかし、スマートフォンの購入や利用にはコストや技術的な壁があり高齢者層の普及率はまだ低い状況です。誰一人取り残さないデジタル社会の実現のために、本市におきましても、スマートフォンを使いこなせない高齢者のためのスマホ教室やよろず相談を開催するなど着実に支援を進めています。</p> <p>先日、聴覚障害者と関わりを持たれている方からご相談をいただきました。聴覚に障害がある場合、対面であれば手話を使って会話ができるが、急な連絡が必要な場合はFAXを使用して連絡をしている。出先である場合、FAXも使用できずスマートフォンを持っていないければ連絡をすることができない。スマートフォンのLINEやメッセージ等の機能を使用することで急な連絡にも対応できるよう</p>	市長

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>になるが、購入費をためらい購入できないケースがあると伺いました。</p> <p>このように、高齢者や聴覚障害者の中には、購入費を懸念し、購入できない実態があります。こうした方々への支援が必要ではないでしょうか。マイナンバーカードの普及も大きく進み、今年の12月からは保険証も廃止をされマイナンバーカードが保険証となります。</p> <p>マイナンバーカードの機能をスマートフォンに搭載することも一部の機種ではできるようになっています。今後は対応機種が増え、マイナンバーカードを持ち歩かなくてもスマートフォンで対応できるようになります。そうしたことから、今後益々スマートフォンの必要性は増していくと考えられ、購入費を懸念してスマートフォンの購入をためらっている方々への支援が必要と考えます。そこで以下、質問いたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>（1） 高齢者のスマートフォンの所有率は。</li> <li>（2） スマホ教室でのスマートフォンの貸出状況は。</li> <li>（3） 緊急時での聴覚障害者への連絡方法は。</li> <li>（4） 高齢者へのスマートフォンの購入費を助成することについての見解は。</li> <li>（5） 聴覚障害者へのスマートフォンの購入費を助成することについての見解は。</li> </ol>	